

2015 明治安田生命 J2 リーグ  
第 10 節

vs. V・ファーレン長崎

4/29 13:00 kick off  
@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場

## 2015J2

### ■順位表■第9節

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	磐田	22p	+12	18	6	
2	金沢	21p	+11	16	5	H●
3	長崎	17p	+6	12	6	
4	千葉	17p	+5	13	8	
5	大宮	17p	+4	12	8	
6	愛媛	16p	+1	9	8	
7	岡山	15p	+6	11	5	A●
8	C大阪	15p	+5	17	12	H●
9	東京V	15p	+2	13	11	A●
10	札幌	15p	+2	9	7	
11	福岡	14p	0	12	12	A△
12	横浜FC	13p	0	12	12	
13	京都	10p	-4	10	14	
14	讃岐	9p	-3	5	8	HO
15	北九州	9p	-4	9	13	
16	徳島	9p	-5	7	12	A●
17	水戸	8p	-2	7	9	
18	群馬	8p	-4	7	11	
19	栃木	8p	-6	8	14	H●
20	大分	7p	-5	10	15	A●
21	熊本	6p	-8	5	13	
22	岐阜	4p	-13	8	21	---

## 次回HomeGame

第12節 vs.京都サンガ  
5/6(水・祝) 13:00  
@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場



本庄工業株式会社  
<http://www.honjo-woodream.com/>

## 岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23  
tel:058-273-8998

## ALADDIN

何も無い店だけど..  
心の花が咲く..  
何も無い店だけど..  
心癒される..  
忘れかけていた喫茶店がある  
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

## today's guest : V・ファーレン長崎

2014 J2 12勝16分14敗 勝ち点52:第14位

直近の対決と結果	
2014/08/03	J2 - 25節@長崎県立
<b>長崎 0-2 岐阜</b>	
難波宏明×2 scored.	

ここ3試合の公式戦の結果		
FC岐阜		V・ファーレン長崎
2015/04/26	J2 - 09節@レベスタ 福岡 2-2 岐阜	2015/04/26 J2 - 09節@長崎県立 長崎 0-1 大分
2015/04/19	J2 - 08節@長良川 岐阜 0-1 栃木	2015/04/19 J2 - 08節@ニッパツ 横浜FC 2-2 長崎
2015/04/11	J2 - 07節@味スタ 東京V 4-3 岐阜	2015/04/11 J2 - 07節@西京極 京都 1-4 長崎

●4/19(日)第8節・ホームでの栃木戦では、PKで献上した1失点を取り返せず、惜しくも敗戦したFC岐阜。攻撃陣に得点が生まれなかったのは残念だが、一方で(対戦相手が違うので一概には評価できないが)これまで失点を重ねてきた守備陣の立て直しに、わずかな光明が見えた試合だった。そして続く4/26(日)第9節・アウェイ福岡戦では、5戦負け無しで7位と好調の福岡を相手に終始激しく戦い、2度のリードを奪った。残念ながら2度とも追いつかれドローに終わってしまったが、アウェイ戦での勝ち点1獲得そして6連敗ストップという成果が得られた。また、今季これまでの得点者は#24難波宏明だけだったが、#33レオミネイロと#20岡根直哉が得点し、攻撃の新しい形が見えてきたことも大きな収穫だ。特に#20岡根直哉のヘディングシュートは、FC岐阜のJ2通算300ゴールと同時に久しぶりのセットプレーでの得点だった。セットプレーからの得点パターンを持てれば、勝ち点の積み上げも増えてくる。そういう意味でも次に繋がる試合だった。だからこそ、続くホーム戦の今節は更なる結果、今季2勝目を何としても手にしたい。

さて、今節の対戦相手はV・ファーレン長崎。前節はセットプレー1発で大分に敗戦したが、それまで7戦無敗と好調を維持しており、現在は3位。高木琢也監督体制3年目を迎え、昨年は14位に終わったが、2013年には6位だったチームの勢いを取り戻していると見て良いだろう。厳しい対戦相手だが、しかしFC岐阜との(Jリーグでの)通算対戦成績は2勝1分1敗、5得点5失点と勝ち越している相手でもある。前回対戦の昨年8/3(日)アウェイ戦でも、#24難波宏明の2ゴールで勝利している。今回も#24難波の活躍そしてゴールを期待したいところだ。また#19益山司が累積警告で出場停止となる今節、(#14太田圭輔または#25清本拓己が有力だが)替わりに出てくる選手の活躍にも期待したい。

一方の長崎で最も注意すべき選手は、現在3得点の#27イ・ヨンジェだろう。2014年アジア杯で優勝した韓国メンバーでもある彼の、個の能力での突破・シュートを岐阜の守備陣がしっかり防ぐことが勝利への鍵だ。また#8木村裕、#23梶川諒太の2シャドーの動きにも警戒が必要だ。(なお、かつて岐阜に在籍していた#18佐藤光一と#44スティッペの出場あるいはベンチ入りは、微妙な状況と思われる。)かつての"アジアの大砲"と呼ばれた長崎の高木監督は、(水戸の柱谷監督、福岡の井原監督と同じく)ラモス監督と同じ"ドーハ組"だ。その2人が指揮官として相まみえるのは(古い人間には)感慨深いものがある。また長崎とは、2006年(東海リーグ1部時代)に2回対戦している。2度目は地域決勝・決勝ラウンド12/3最終戦、JFL昇格が懸かった一戦を制したのは岐阜だった。さらに長崎のGMは(2008年~2012年は岐阜のフロントにいた)服部順一氏。その縁で長崎にはかつて岐阜にいたスタッフもいる。様々な因縁のあるチーム同士の対戦は、様々な形で燃える熱い想いが激しくぶつかり合う試合となることだろう。

また今節は(2週間で5試合を戦う)GW5連戦の2戦目だ。両チームともコンディション調整が非常に厳しい中での試合となるが、この5連戦で勢いに乗ることが出来れば、最下位脱出そして降格圏脱出も十分に可能だ。そして、ここホーム・長良川では僕らの声援で(身体が重いであろう)選手たちの背中を後押しできる分、有利なはずだ。苦しい試合になるだろうが、僕らサポーターも強い気持ちで、ホームスタジアムの利を活かして力強く最後まで声援を送ろう。そして試合終了後には、みんなで(今季2度目の)勝利の喜びを分かち合おう。(ささたく)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。休:月曜日

## 投稿募集!!

gidaidohri@hotmail.co.jp

## 【第8節】岐阜 0-1 栃木

●順位の近い相手に勝ち点3を献上。勝てば栃木より上に行けただけに、実質的に勝ち点6の差をつけられたようなイメージが残る敗戦。本来なら、イメージというよりダメージ。そういう衝撃があってもよさそうなもんだが、「う〜ん、せめて勝ち点1は取りたかったな〜。」程度の感触になっているのは、やっぱり前節のアレが未だに響いてるせいかも？っていう気持ちで全力で否定は出来ない（苦笑）。もしかしたら、アノ衝撃で体中が弛緩しきってるのかもしれない。あるいは、反対に硬直化したままになって、ちょっとやそっとの刺激じゃあ反応できなくなってるのかも？そのくせ、「いやいや、2013シーズンよりはマシだろ？」などと、根拠のまったくない楽観的な感覚があるのは、どうしてだろう？いや、コレも感覚がマヒしてる証拠かもしれない。

それにしても、試合はどっちもどっちな内容。かたや、3連敗中。こなた、5連敗中というのもというのも納得な出来だったけど、結局大きなミスをした方が痛い星を落とした格好。だから、まったく手も足も出なかったわけじゃなく、フレアーな高地のシュート、その直後の司。あるいは和道のヘッド。どれか一本ぐらいは決まりそうなモンだったけどね。まあ、それが決まらない辺りが今の順位。力のなさの表れということなんだろうな。でも、そこを何とかしないと、この状況は打開できない。そして、それをやるのは自分たち。選手も苦しいだろうが、ビビるのだけはナシで。勇敢に戦ってほしい。この試合を見てたら、岳志がエラく慎重になってたような気がした。試合中に何度も和道から「前へ！」と手ぶりで指示されていたようにも見えた。勘違いであるなら、それに越したことはないんだが。もちろん、そうなる気持ちもわかるような気もする。だけど、それを乗り越えてくれないとね。これからも毎試合が厳しい戦い。いくつかのクラブが足並みを揃えてくれるよう祈っておこうか。いわゆる、ボトムズには足並み揃えて欲しいなあ〜、と願望を訴えたいんだけど、愛媛は今季無敗の千葉に苦杯をなめさせるわ、群馬に至っては大阪相手にあんな結果出されちゃうとなあ……。一発で逆転できるのが、大分だけになっちゃった。残留のための最低限のノルマ「毎月5ポイント」も厳しくなってきた。

とはいえ、今すぐ順位を逆転する必要もない。そりゃ、気持ちは楽になるけどね。最終的に残留してくれたら、それでいい。とにかく、大事なものは目の前の一つ一つの試合。臆することなく、勇気を持って積極果敢に戦ってくれることだけを望む。その後押しをするためにレベスタに行きます！（ぐん、）

●もしかしたらラモス監督も『出来る範囲内で』必死なのかもしれない…（苦笑）なんて思ってしまった。それを感じたのはサブメンバー。ジュンキに替えてレオミネイロ。まあ、先日の飛田給での圧倒的な「自分らしさの消失」を見てしまうと、ベンチからはずれるのも現状では理解できるが、代わりのベンチ入りがレオミ。同じく、先日の飛田給で何も出来なかった（←表現を選んでます）カルベがサブ入り。ここに現在のFC岐阜の置かれている辛しい状況がうっすらと見えた気がした。つまり「スタメン・グループ」「ベンチに入れるサブ・グループ」「ベンチにも入れないサブ・グループ」の階層が出来上がってしまっているように思えるのだ。

試合は「おそろくラモス監督から『前にかぶせろ』と指示を受けてたに違いない」4-4-2のシステムで始まったけど、やっぱり選手にはプレースタイルというものがある。ロドリゴはいつものようにボールに触りたがって下がってしまい自然と4-2-3-1に戻ってしまって、難波さんしか相手ゴール前にかぶせない「恐くない岐阜の攻撃」に戻っていた。ボールを奪っても前線が薄いんで相手はそこそこの人数で対応していけばいい。時折ポカッと空くツカサの前のスペースをうまく使えた時がチャンスが訪れる。ツカサにそのスペースを使わせるためにロドリゴが下がっている……なんてこともあるまい。

あと、「中盤はヘニキと誰を組ませるのがベターか」という問題はいまだに残っている。彼は「優秀なハンター」だ。相手ボールホルダーを豪快に狩ってピンチの芽を摘んでくれる頼もしいシーンは何度も視ている。けれど、そういうプレースタイルだから警告も多くなるし、狩りに失敗するとこの試合のようにPKを与えたりする。

そして、問題は彼が「優秀なハンター『でしかない』」という部分だ。ヘニキには「スペースをマネージするという思想」がない（苦笑）と同時に、彼には「ボールの配給能力がない」という厄介なキャラ設定（再苦笑）がある。相手が攻撃で仕掛けて来た時にハンターとしてボールを狩る。よしっ、ショートカウンター行くぞ！という時に彼が出すパスは1mずれる（苦笑）。野球マンガ『ドカベン』の岩鬼みたいに、最初から「味方から1m離れたところにボールを出せ」と指示した方がパスが通るんじゃないか？と思ってしまうほどに。そうすると、ヘニキはハンター専業として、相棒のボランチには「カバーリングと配給能力に優れてスタミナもある」という能力が求められる。それって“J1”級の要求だよな。

かくして、高地のポスト直撃シュートや和道の惜しいヘッドとかの見せ場もあったけれど、「相手も調子落ちだったからね」で納得できてしまう低調な内容で6連敗。そろそろ順位表の下の方でつきあってくれるチームも減ってきた。とりあえず“降格一直線”のこの状況打開の可能性は、第1段落に書いた「階層構造」を打破する若手選手の台頭か、あるいは「わざと空けてある（……と思いたい）“9番”と“10番”に相応しい攻撃手を夏の移籍で獲得して（もちろん、その予算は確保済という前提で）後半の反攻で残留する、くらいだろうか。いくらウルトラマン難波と言えども、現在のような使われ方をしていたらカラータイマーはキツイ岐阜の夏には点減すらしなくなってしまうだろうし、それより高地が深いケガでもしたらその時点でこのチームは終了してしまう。

「15日で5試合」のGW連戦に突入して、まずは「階層構造の打破」に期待するしかない。そんな感じ。（吉田铸造）

●私は瑞浪市内在住のFC岐阜サポーターです。長良川競技場へ応援に行くには少し時間が掛かりますが、JFL昇格シーズンから今季まで、ホーム開幕戦には必ず足を運んできました。この岐阜県初のプロチームであるFC岐阜は、私にとって希望であり、大きな夢です。しかし今季のここまでのFC岐阜の戦いには失望しています。

昨季のチーム得点王ナザリトを放出せざるを得ないチームの厳しい経営状況を受け入れなければならないのは、十分に分かっています。しかしプロである以上、選手の頑張りや試合内容を問うのではありません。結果が全ての世界です。勝ち点が伸びなければJ3降格という現実しか待っていません。選手は頑張ってますとか、チーム戦術がどうだとか、次の試合では頑張りますとか、もうどうでもいいです。とにかく勝利という結果を出して下さい。もうこれ以上、長良川競技場で悔しい思いをさせないで下さい。選手はもっと今以上に危機感を持って下さい。今日（29日）の長崎戦も観戦します。今後もFC岐阜が本当に自分の夢を託せるだけの価値のあるチームなのか、この目でしっかりと確認するつもりです。（瑞浪のこうちゃん）

## 【第9節】福岡 2-2 岐阜

●アツイ。とにかくアツイ試合だった。いろんな意味で。真っ昼間の午後1時キックオフ。ほんの十日前までは桜も残ってて、少し肌寒さも感じていたのがウソみたい夏模様。そんな中で、選手もゴール裏もよく頑張ったと思う。勝てた試合とは言えない。ただ、毎試合これぐらいは見せてほしいな。できるよね？そういう基準みたいな試合。ただ、まあ、決定機は福岡のが多かったように見えた。前半はともかく、後半に。前半なんかは、城後に決められたアノ一瞬だ

けだった。それにしても、対戦するたび、スカパー！とかのダイジェスト見るたびに思うけど、体格がある割にゴール前にスッと……、というか、ニュルツと入ってくるのうまいよなあ、アイツ。ホントにメンドクサイ選手だ(苦笑)その他にも、鈴木惇や中村北斗が復帰してたり、中原が完全移籍していたりで、メンバー的にも曲者揃い。ここんとこ5戦負けなしとかで、勢いもある福岡。たしかに、チャンスの芽になりそうなボールも、イーブン・ボールもちょっとしたミスやアンラッキーで福岡の流れになっちゃうところが多々あった。でも、そんな中でもぎ取った勝ち点1。常に先制しながら、その都度追いつかれるという、いわゆる負のスパイラル？へ陥りそうになりながら、この試合はギリギリ粘り切った。それは評価したい。この引き分けが次に繋がるかどうかはわからない。だけど、繋げていかなきゃいけない。それをやるのは自分たち。この1ポイントを意味のあるものにするのは自分たちにしかできない。それを忘れないでほしい。連戦が続き、非常にキツイスケジュールになっているけど、ここがしのぎどころ。今度こそ勝利の凱歌を挙げよう！

それから、移籍初ゴールおめ！>レオ&岡根。これからも、どんどん決めちゃってください。期待してます！

あと、この試合。試合前練習の時から、岐阜サポが密集して声援を送っていたけど、選手入場してから全員が肩を組んで「誇り胸に」を歌い上げた場面。雰囲気は最高だった。選手に伝わったかどうかはわからない。でも、伝わっていると思う。それぐらい、みんなが一丸となって気持ちを乗せた場面だった。これからも、ああいう場面が多くなることを願っている。そのために、できるかぎり現地に行きたい。今日も、選手を後押しするために精一杯の声をしますよ！（ぐん、）

●2週間で5試合を戦うGW5連戦の初戦・アウェイ福岡戦。初夏並の25℃を超える快晴の日中、タフなゲームになることを予想してか、はたまた5連戦の消耗を考慮してか、スタメンも若干変更…むむっ、#15ヘニキがベンチ？これは「後半、相手のスタミナが無くなってきた時の方がヘニキのプレーは有効だ」というラモス監督の判断かしら？それともヘニキの消耗を考慮して、#28泰輔&#27 苅部の若手2人にボランチを組ませたのかしら？あと#7ロドリゴは負傷欠場か…あの技量を持ちながらウチに在籍してるのは、残念ながら“スベ体質（「怪ししやすい体質」の意）”だからかも…などと思いつつ試合観戦。

暑いから最初は様子見で試合に入るかなと思ったけど、(良い意味で)違った。岐阜の選手たちは「勝ちたい」という気迫を全面に出して戦っていた。激しくボールを奪いに行くプレーが多かったし、戦術も足元へのパスだけでなく、縦への(裏への)スルーパスを多用するようになっていた。慣れない戦術に失敗する場面も多かったけれど、勝つためにシンプルな攻撃に徹していた。そんな状況に、福岡の選手たちも(事前ミーティングの内容と違うので)戸惑ったのかもしれない。先制点も、相手DFのミスから。しかし「あ…でも1vs1になりながらGKにボール当てるパターンかも…」という考えが脳裏をかすめた僕を許してくれ#33レオミネイロ(苦笑)。そして「初ゴールおめでとう！これで迷いが吹っ切れて、#24難波ともどもゴールを量産してくれるといいな！2点目は…いつ以来になるか憶えていないぐらい久しぶり(昨年の開幕戦かな?)な、セットプレーからの得点。福岡GK#1 神山の弾いたボールを押し込んだ#20 岡根のヘッドはクラブJ2通算300点目となる記念ゴール！（そーいや記念Tシャツは今回も作るのかしら？）もちろん、2度もリードしながら2度も追いつかれた点(守備面)については反省して貰わなくてはならない。だけど、6連敗してこれだけチームの勢いが弱くなっている時に、まずはアウェイで勝ち点1を奪えたこと、連敗をストップできたことは、素直に喜びたい。現地に駆け付けた岐阜サポもそう思っていたのだろう、全員が拍手で選手たちを迎える場面は心の芯まで響いた。

とはいえ、この“次に繋がる”貴重な勝ち点1を、本当に次に

繋げなくては意味がない。特に、ホームでの勝利こそがチームに勢いを取り戻すために必要だ。今日こそ勝利を！そのために最後までがんばりますよ！（ささたく）

## 【ユース】「先輩」に続け！

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)はクラブユース選手権の東海大会の予選リーグに参戦しています。4月19日にメジェール戦、4月26日に尾張クラブ戦が有りました。結果はメジェール戦は4対0で勝利、尾張クラブ戦は0対0の引分けとなりました。2試合共に無失点だったのはとても良い事と思いますが、尾張クラブに勝てなかったのは少し残念です。(因みにメジェールは瑞穂市のチームで、これまではジュニアユース以下の各年代のチームを運営していましたが、今年からユースチームを立ち上げ、FC岐阜ユースとの試合が初公式戦だったようです)

4チームが参戦している予選リーグで現在FC岐阜ユースは勝点4で2位となっています。5月10日に現在首位の愛知FCとの対戦が有ります。ここで引分け以上であれば予選リーグ通過、負けの場合は3位の尾張クラブの結果次第となります。対戦相手の愛知FCは名古屋市を拠点として活動しているクラブチームで、ジュニアユースからは中西哲生・矢野隼人・斎藤大輔をはじめとする数々のJリーガーを輩出しています。実はFC岐阜ユースは公式戦では昨年初めて愛知FCに勝ちました。だから決して簡単な対戦相手では有りませんが、ここはしっかり勝ちきって、自力での予選リーグ通過を決めて欲しいです。行くぞ～！全国！！

一方のG1リーグはインターハイの地区予選の為に暫くお休みでしたが、5月6日の第2節から再開されます。FC岐阜ユースの第2節の対戦相手は長良高校です。こちらもしっかりと戦って、結果を出して行って欲しいです。

頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！(シュナ)

●先週24日にビッグニュースが届きました。我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)出身で現在東海学園大学でプレーしている志知孝明選手の松本山雅FCへの来季新加入が発表されました！FC岐阜ユース出身では初めてJリーグのクラブに所属する選手となります。

現在志知選手は東海学生リーグで屈指のMFとして活躍しており、2013年、2014年の2年連続で全日本大学選抜にも選出されていました。FC岐阜ユースからの初めてのJリーグ加入選手なので、個人的には出来ればウチに来て欲しかったのですが、やむを得ないですね。

本人にとってJリーグに加入するのがゴールではない筈。これからも自らの目標を目指して頑張っていて欲しいです。頑張れよ！志知選手！！(シュナ)

## 【セカンド】全国への道を開け！

●「第51回全国社会人サッカー選手権大会(以下『全社』)岐阜県大会」に参戦しているFC岐阜SECOND(以下『セカンド』)ですが、4/26(日)の準決勝で、Giocatore Classicに見事2-1で勝利しました。実は昨年の大会では、このGiocatore Classicに3回戦で対戦してPK戦の末に惜敗しており、今年はリベンジを果たすことが出来ました。また決勝に進出したことで、昨年は閉ざされてしまった『全社』東海予選と「岐阜県サッカー選手権大会(天皇杯岐阜県予選)」に出場することが可能になったと思われ(今年から天皇杯に「2種(高校やユース)」の出場が出来なくなりました)。

「全国」での戦いを目指すセカンドの戦いにもご注目ください。決勝は5/3(日)の11:00から長良川球技メドウで、FC川崎を相手に行われます。(ささたく)

